

信頼性試験対応規格

機械振動

試験項目	対応規格名
自然落下試験	ISO 16750-3 / JIS C 600682-32 / JASO D 014-3 他

試験名：落下試験

(対応規格)ISO 16750-3、JASO D 014-3、JIS C 60068-2-31

この試験はサンプルを使用中又は修理作業中に粗雑な取扱いで発生するような打撃や急激な落下を想定し、受ける影響を再現する試験方法です。

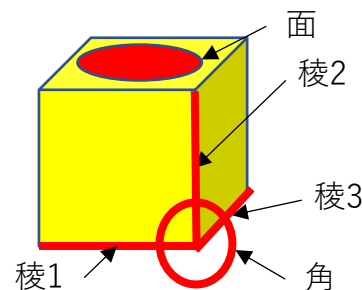
試験方法としてはサンプルによって様々であり、質量や落下位置、落下方法(面落下、角落下、稜落下)、繰り返し自然落下などを規定し、落下床面は滑らかで剛性があり水平である面(コンクリート製や鋼製)で試験を行い、試験前後の外観検査を行うものです。

(例) 梱包物6面体：235×155×85(mm)、1kg未満

⇒落下高：80cm

⇒落下順：角1箇所→稜3箇所→面6箇所

⇒落下回数：各1回、計10回



より受ける衝撃を人工的に強くしたり、変化する環境下で振動する衝撃を加えたい場合は、衝撃試験や複合振動試験などがあります。近年では包装貨物や電子機器、食品、製薬などの様々な分野で需要が高まってきております。

落下試験の様子

